

生協10の基本ケア

その1



「住み慣れた地域で、安心して自分らしく生活していきたい」という組合員の願いを受けてコープの福祉事業は2006年に生まれました。訪問介護サービスから始まりグループホームなどさまざまな介護サービスを提供しています。コープいしかわの福祉事業で取り組む「生協10の基本ケア」について隔月で紹介していきます。

コープいしかわの福祉事業所

●ケアセンター金沢



- ・デイサービスこーぶあいあい
- ・ホームヘルプサービス
- ・お手伝いサービス
- ・障害福祉サービス
- ・福祉有償運送サービス

●ケアセンター戸板



- ・グループホーム戸板
- ・居宅介護支援サービス
- ・相談支援事業



デイサービスでレクリエーションをする利用者

その人らしさを
尊重するサービス、
親しみのある人間関係を
大切にありのままを
受け入れ今できる力を
活かせるような支援を
しています。



グループホームの日常の様子

生協10の基本ケアとは

ならコープが母体の社会福祉法人協同福祉会が2006年から実践してきた考え方を元にしており、全国の生協で取り組んでいます。

生協10の 基本ケア

10 ターミナルケアをする

自分らしいふつうの暮らし

- 8 夢中になれることをする (個別機能訓練)
- 9 ケア会議をする (生活意欲づくり)

考え方

- 6 座って会話をする (認知症ケア)
- 7 町内におでかけをする (ノーマライゼーション※)
※みんなが平等に生活する社会を作っていくという考え方

日常生活
動作 (ADL)

- 3 トイレに座る (排泄ケア)
- 4 あたたかい食事をする (食事ケア)
- 5 家庭浴に入る (入浴ケア)

ベース

- 1 換気をする
- 2 床に足をつけて座る (移乗方法、座位保持)

生活の質 (QOL) の向上・自立をめざした介護

暮らしの
再建を
支える
ケアの
基本

1から10までのケアを実践していくことで、利用者本人の活動が向上し、家族や地域の人々との関わりを持ち、自分らしいふつうの暮らしができるようめざすものです。

次回より一つ一つのケアについて紹介していきます。

「生協10の基本ケア」は、日常の生活行為そのものをリハビリと捉え、生活動作をできるだけ自力で行ってもらい足りない部分を介助するという考え方です。

できることまで
してあげる介護
洋服を着せてあげる



利用者の主体性を取り戻す介護

本人の意向を聞き、
着られる方法を考え、
時間がかかっても
本人が着るのを見守る



コープの福祉事業所で
働きませんか

コープいしかわの
福祉事業では、求人募集を
行っています。詳しくはこちら▶

